

2026 年 10 月 29 日

エネグローバルとの共同出資 SPC を設立し、高圧太陽光発電事業を本格始動

～約 2.5 万 kW の分散型電源を開発・運営～

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（取締役 代表執行役社長 CEO：笹山 晋一、以下「東京ガス」）とエネグローバル株式会社（代表取締役社長：上野 嘉郎、以下「エネグローバル」）が 2026 年 4 月 21 日に締結した「太陽光発電事業の共同事業開発に向けた包括連携協定」*1 に基づく最初の共同投資案件として、このたび、東京ガス 100% 出資子会社のプロミネットパワー株式会社（代表取締役社長：伊藤 英臣、以下「プロミネットパワー」）とエネグローバルホールディングス株式会社（代表取締役社長：李 力欧、以下「エネグローバル HD」）は、高圧太陽光発電所を取得・保有する「エネグローバルテラグリーン 1 号合同会社」（以下「本 SPC」）を共同で設立しました。また、本 SPC は本事業資金を用途とするプロジェクトファイナンスに係る融資関連契約、及び発電所の取得、建設、保守管理、電力売買等に関する各種プロジェクト関連契約を締結しました。

本事業では、エネグローバルが約 35 カ所、合計設備容量約 2.5 万 kW の高圧太陽光発電所を開発・建設し 2027 年 4 月以降、完工した発電所から順次、本 SPC が取得・運営する計画です。既に一部の発電所については、2027 年 4 月 1 日の商業運転開始に向け、順次建設に着手しています。発電した電力および環境価値の全量を東京ガスが調達し、お客さまへの再生可能エネルギー電力の供給に活用します。

近年、大規模な太陽光発電所の適地減少に加え、比較的小規模な用地面積で建設可能な高圧太陽光発電への注目が高まっています。また、系統接続、各種許認可、地域との調整など、再生可能エネルギー電源の開発には案件ごとのきめ細かな対応と確実な事業遂行力が一層重要になっています。本事業では、エネグローバルが有する開発、EPC（設計・調達・施工）、O&M（保守管理）の一貫した実行力と、東京ガスが有する電力小売をはじめとする事業基盤を組み合わせることで、複数の高圧太陽光発電所をポートフォリオとして管理し、品質と地域共生を確保しながら着実な事業化を進めます。

東京ガスは、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム*2 構築」ならびに「CO2 ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。一人ひとりの暮らしから地域社会にいたるまでの多様な課題を解決するさまざまなサービスを創出・提供し、お客さまとともにカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

■ エネグローバルテラグリーン 1 号合同会社の概要

会社名	エネグローバルテラグリーン 1 号合同会社
所在地	東京都千代田区一ツ橋二丁目 6 番 3 号
設立日	2026 年 9 月 11 日
代表者	代表社員 一般社団法人エネグローバルテラグリーン 1 号 職務執行者 安川 隆浩
目標開発容量・サイト数	約 2.5 万 kW / 約 35 カ所
発電所建設予定エリア	東京電力 PG エリア・東北電力 NW エリア
商業運転開始予定	2027 年 4 月 1 日以降、順次開始予定
出資割合	プロミネットパワー：50%、エネグローバル HD：50%

*1：2026 年 4 月 21 日発表「[太陽光発電事業の共同事業開発に向けた包括連携協定をエネグローバルと締結](#)」

*2：多くの企業が、それぞれ強みを持つ領域の技術・ノウハウ・知見を持ち寄り新たな価値を創出していく事業生態系

以上